

11/12

Wed

研究校 飯田市立千栄小学校

共同研究者 伏木久始
(信州大学 学術研究院教育学系 教授)

自分に合った学び方で主体的に学べる子ども ～子どもたちに合った学びの場を模索して～

複式学級ができて3年目の本校では、これまで学習リーダーが中心に進める協働的な学習に取り組んだり、他校とのオンライン授業、合同授業などを行ったりしてきました。そんな中、共同研究者の伏木先生から、少人数の学校では、とすると、子どもたちは生活や学習の面ですぐ先生に助けを求めてしまい、教師も子どもが要求する前に手助けをしてしまいがちだとして指摘いただき、まさに本校もその通りだと感じました。もっと子どもたちに自分で考えて主体的に学習に取り組んで欲しい、そんな願いから、2教科同時進行の自由進度学習に全校でチャレンジすることになりました。本校では、一部教科担任制を取り入れているため、全校で取り組むことができます。その名も、千栄っ子チャレンジ「ちはチャレ」です。

9月に第1回の「ちはチャレ」を行いました。いつもとは違う場所で黙々と問題に取り組む児童の姿がある一方、やはりすぐ先生に聞きに行ってしまう児童もいて、教材研究の大切さを痛感しているところです。また、授業の中で困っている子どもに、どのタイミングで声をかけるべきか、難しさを感じています。

第2回は11月の公開に合わせて行う予定です。当日は、教師は子どもたちの姿を見守るようにして、子どもたちがどのようにして「自分で考え」「わからないことは自分で聞き」「自分で解決していく」のか、子どもたちの実際の姿をご覧いただき意見をいただければと思います。



共同研究者 伏木先生から

全校児童23名の千栄小学校では、地域フィールドでの豊かな学びや学年卒を越えた柔軟な学習活動が展開されていますが、学習指導に関しては子どもの試行錯誤の経験を奪いがちであるという課題もありました。子どもが教師に依存しすぎず主体的に学ぶ力をつけるための学習指導を追究し始めた千栄小の挑戦を支援しています。



～日程～

- ① 受付 13:20～13:30
- ② はじめの会（活動説明）
13:40～13:50（10分）
- ③ 授業公開 14:00～14:45（45分）
- ③ 全校活動 14:55～15:15（20分）
- ④ 授業を語る会
15:25～16:35（70分）
- ⑤ まとめの会 16:35～16:45（10分）